

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

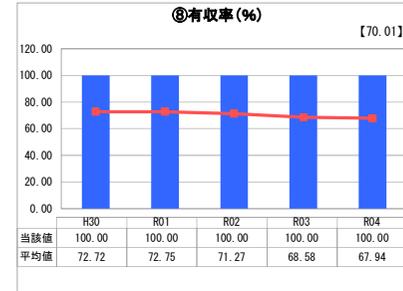
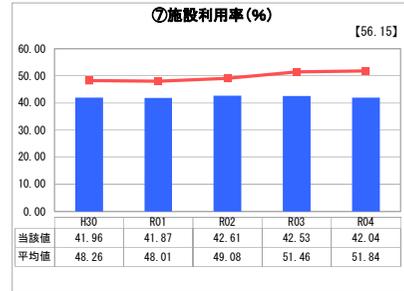
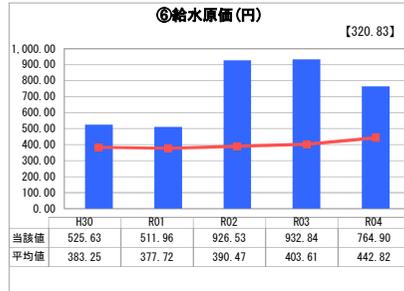
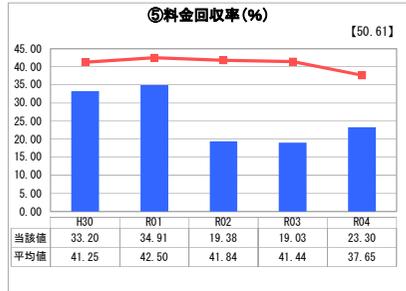
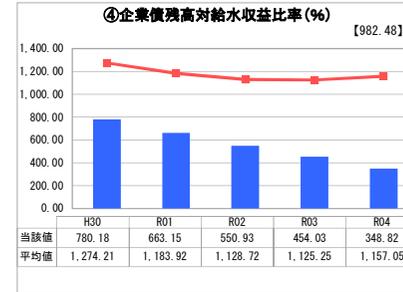
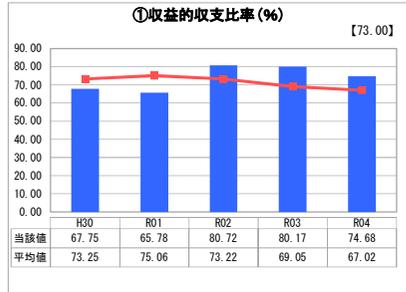
熊本県 南関町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)	
-	該当数値なし	0.90	3,000	

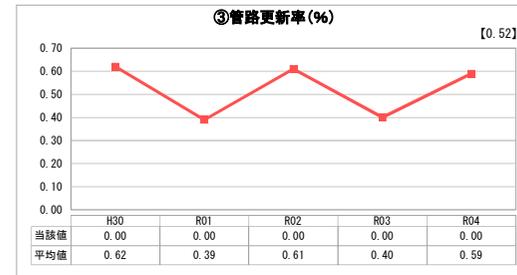
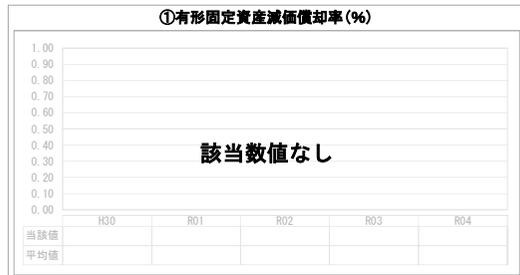
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
9,001	68.92	130.60
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
80	0.03	2,666.67

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

⑤料金回収率の増加及び⑥給水原価の減少については、大きな修繕費が発生せず、費用が抑えられたことが要因となっている。

年々と簡易水道給水人口(計画人口180人規模)が減少しており、それに伴って料金収入も減少している。今後簡易水道供給区域拡大の計画もない為、簡易水道供給人口の増加も見込めない状況である。

(給水人口の推移)

H27年度 100人  
H28年度 102人  
H29年度 101人  
H30年度 93人  
R 1年度 90人  
R 2年度 89人  
R 3年度 85人  
R 4年度 80人

現在、維持管理費用を料金収入で賄えておらず、R2年度に策定した経営戦略に基づいて、料金体系や維持管理費の削減について検討を行っていく。

### 2. 老朽化の状況について

簡易水道事業はH8年度より給水開始し、27年経過している。老朽化については、各所修繕や改築が必要な箇所が出てきており、R2年度には中間槽ポンプ修繕、R3年度には計装機器の修繕を行った。今後も維持管理費用の増加が懸念される。

## 全体総括

南関町では水道事業の規模が小さく、簡易水道事業及び飲料水供給施設等を含めた水道供給率は、町全体の6%程度である。

事業規模が小さく、財政的にも厳しい状況にあり、施設の修繕や更新時期を迎えることになると更に厳しい経営状況が予想される。年々と給水人口が減少している状況を考えると、飲料水供給施設への移行を含めて料金体系や維持管理の検討が必要と考えられる。

現在の水道事業 1箇所  
給水件数 34件  
給水人口 80人